

平成21年度第2回中原区区民会議

日時 平成21年10月8日(木) 18:00~

場所 中原区役所5階 502・503会議室

午後6時2分 開 会

1 開会

司会 皆さん、こんばんは。昨日からの台風が心配されましたが、すごく晴れまして、まさに台風が去った後の秋晴れでございました。この5階からは富士山が見えますが、さきほど久しぶりに富士山のシルエットが夕日の中にそびえ立ってしまっていて、大変すばらしい風景でした。何とか台風も去って、無事にこの会が開かれることは本当に嬉しいことだと思っております。

それでは、平成21年度第2回中原区区民会議を開催いたします。

ここで、山川委員さんですが、所用によりご欠席との連絡をいただいております。また、潮田参与は公務のためご欠席です。また、立野参与、東参与は所用のためご欠席ということでございます。また、今日いらっしゃるようになっておりました市古参与、それから志村参与、松原参与、吉岡参与、徳安参与、皆さん方は少し到着が遅れているようですので、追っていらっしゃると思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは初めに、中原区長の畠山よりごあいさつ申し上げます。

区長 改めまして皆さん、こんばんは。区長の畠山でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

本日は、第2期としましては第6回目の区民会議でございますけれども、区民会議の委員の皆様方、そして参与の皆様方には大変お仕事のお忙しいところ、また地域での活動のお忙しいところをご出席いただきまして、心より感謝を申し上げたいと思ひます。また、本日も傍聴の方々におかれましては、中原区の区民会議に高いご関心をお寄せいただきまして、大勢の方々にご来場いただきまして、まことにありがとうございます。

さて、本日の区民会議でございますけれども、今回は「まちの魅力を見つける」というテーマを設定しまして、これについてご論議をいただくこととなっております。前々回と前回の区民会議では「これからの地域コミュニティづくりを考える」ということをテーマにご議論いただきまして、そこで、地域が取り組むこと、行政が取り組むこと、そして地域と行政が協働して取り組むことをまとめていただきまして、現在、そのまとめに沿いまして一步一步その具体化を進めているところでございます。

その論議の中で地域への関心をどう高め合っていくか、地域での人と人との輪をどうつくっていくか、そして発展させていくかにつきましているいろいろのご意見をいただいたところでございます。今回の「まちの魅力を見つける」というテーマにつきましても、区民の方々の地域への関心の高まりやその地域への関心の共有化、そして地域での人と人との輪の新しい広がりにつなげられれば何よりではないかと思ひます。

委員の皆様方の自由な発想と創意工夫によりまして、本日の区民会議を1つの契機としまして、中原区の魅力の発見や再発見、あるいは掘り起こしがなされまして、地域への関

心の高まりやその共有化、そして人と人との輪の新しい広がりが始まりますことをご期待申し上げまして、行政の立場からの一言のごあいさつとさせていただきます。

本日は、開催に当たりましていろいろとご協力をいただきまして、まことにありがとうございます。どうぞよろしくお願いいいたします。

司会 この会議は会議公開条例に基づき公開で行われます。また、会議録を作成し、公開することとなりますので、皆様方のご了解をいただきたいと存じます。また、今日もたくさん傍聴の方がいらっしゃっておりますが、傍聴のあった場合にもこれを許可することとなります。傍聴の方々には傍聴者の遵守事項を遵守していただきますようお願いいたします。

それでは、まず事務局より資料の確認をさせていただきます。では、お願いいいたします。

事務局 それでは、事務局から皆様に配布させていただいております資料の確認をさせていただきます。

まず最初に、次第でございます。次が別添1ということで席次表、別添2が委員の方、参与の方の名簿、資料1といたしまして第2回中原区区民会議の運営部会の会議録、資料2といたしまして第1回協働推進事業検討部会の会議録、資料3といたしまして第2回協働推進事業検討部会会議録、資料4といたしまして中原区区民会議スケジュール及び審議の流れ、A3の横のものでございます。資料5といたしまして「まちの魅力を見つける」審議進行イメージというものでございます。次、6-1ということでホッチキスどめのもので、平成20年度協働推進事業結果一覧表、6-2といたしまして平成20年度協働推進事業評価書でございます。資料6-3、平成22年度協働推進事業計画（案）一覧表でございます。続きまして資料7-1「まちの魅力を見つける」事前アンケート集計（委員別）、資料7-2「まちの魅力を見つける」事前アンケート集計（質問別）というものでございます。資料7-3といたしまして「まちの魅力を見つける」事前アンケート集計（分類別）でございます。資料7-4といたしましてまちの魅力を活用した各委員の取り組み事項でございます。資料8といたしまして課題調査部会について。

資料は以上でございます。

続きまして、参考資料としてつけさせていただいているものがございます。参考資料1番として「なかはら地球にいいことプロジェクトについて」、参考資料2といたしまして「地域で取り組む放置自転車問題」の活動報告。

以上が参考資料となります。

また、本日の検討の資料は以上でございますが、それ以外に皆様方に資料を配布させていただいておりますけれども、こちらの資料につきましては後ほどご紹介させていただきたいと思っております。資料は大変多くなってはおりますが、以上でございます。皆様、数のほう、種類、ちゃんとございますでしょうか。いま1度ご確認いただければと思っております。

司会 資料のほうは確認できましたでしょうか。 大丈夫のようですね。

それでは、ここからの進行は委員長にお任せしたいと存じます。藤枝委員長さん、よろしく願いいたします。

藤枝委員長 皆様、こんばんは。委員の方々、そして参与の方々、たくさんの傍聴の方々、何かとご多用の中、本当にありがとうございます。今日のテーマは非常に今までのテーマと違って身近な、多分遊び心が大分入ったテーマだと思いますので、最後までごゆっくりご参加いただければありがたいなと思っております。

正直言いまして、昨日の今ごろは、今日できるかどうか、課長と頭をひねっていましたが、けれども、こんなにいいお天気になるとは思いませんでした。

2 会議録確認委員の選任

藤枝委員長 それでは、次第に従いまして議事を進めたいと思います。では、議事に入ります。

まず会議録の確認委員の選任がございます。前回は芳賀委員と私が担当いたしましたので、名簿の順番でいきますと、恐縮でございますが、今回は藤嶋委員と本目委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか、よろしいでしょうか。 では、お願いいたします。

3 議題

(1) 運営部会報告

藤枝委員長 では、早速議題に入らせていただきます。

前回7月に第1回の区民会議がありました。その後に2つの専門部会を開催しております。それぞれの部会で議論された内容をご報告いただきまして、審議事項について皆様からご意見などありましたらいただきたいなと思っております。

まず初めに、9月7日に開催しました運営部会について、副会長である鈴木委員からご報告いただきたいと思っております。お願いいたします。

鈴木副委員長 それでは、ご報告させていただきます。

運営部会は、9月7日に、部会委員6名のうち、吉房委員が所用によりご欠席で、5名で審議を行いました。

まず、第2回区民会議の運営に当たりまして、会議日程及び会議の進行などの調整を行い、本日の開催の運びとなりました。本日は、第2回、第3回の区民会議で話し合われる新しいテーマ、「まちの魅力を見つける」という課題についてどのように審議を進めていくか、また、このテーマに関して運営部会で出された意見をご報告させていただきます。

初めに、お手元の資料4をごらんください。A3の資料です。「第2期中原区民会議のスケジュール及び審議の流れ」というものでございますが、この資料の一番上のところに

「区民会議」とありますよね。10月のところに「第二回区民会議」と掲載してありますが、これが本日の会議でございます。今回のテーマ「まちの魅力を見つける」は、本日の区民会議での審議を経て課題調査部会でテーマの調査、検証を行って、再び12月の運営部会で調整、確認を行った後、1月の第3回の区民会議でこのテーマのまとめを行うことを確認いたしました。

次に、資料5をごらんください。A4の図が出ているものでございます。こちらは、「まちの魅力を見つける」について審議の進め方をイメージして表であらわしたものでございます。今回のテーマを審議するに当たり、審議をスムーズに進める目的で委員の皆様から魅力について事前のアンケートを回収しております。それをこの表で申しますと、丸が振ってありますが、「魅力」の収集を中心にまず議論を行い、それで集められた魅力の整理、点検は「魅力」の調査・検証、これが課題調査部会を中心として魅力の整理や点検をしていく。また、課題調査部会では、「魅力」の発信とありますよね。この方法も検討することにしたいと思っております。そして、来年1月の区民会議では「魅力」の共有方法とまとめを行うような流れを考えておきまして、審議の進行案としてまとめたものを、資料の右下に「今後の審議進行案」という枠がございますが、このように記載しております。

以上がこの表の新しいテーマ「まちの魅力を見つける」の審議進行方法に関する報告、まとめでございます。

また、最初の資料1の摘録にもありますが、運営部会での委員の意見の一部を紹介させていただきたいと思っております。

まず、中原区は、ほかの区と違った魅力を持っているので、多くの方に知らせる必要がある。若い人にとっては中原の魅力を認識することはふるさとへ誇りを感じることになる。それから中原区には他区にはない施設が多くあります。また、等々力陸上競技場、スポーツが盛んなことをアピールしてもよいのではないかと。それから、中原の写真展などを開催して魅力を知らない人に伝えていくことは情報発信方法としてよいのではないかと。それから、この表にもありますけれども、魅力を支える人々、つまりすべてのことは人が中心ではないかという意見が出されまして、その魅力を支える人を紹介することで魅力を支える人を支援していく、そういうことが出来るのではないかと。といった意見が出されました。

以上が運営部会での報告とさせていただきます。

藤枝委員長 ありがとうございます。今の鈴木委員の報告について何かご質問があればいただきたいと思っておりますけれども、よろしいですか。

(2) 協働推進事業検討部会報告

藤枝委員長 では引き続きまして、7月22日と9月24日に開催しました協働推進事業検討

部会について、部会での審議事項について、部会長である横川委員からご報告をいただきたいと思います。お願いいたします。

横川委員 先日行いました協議についてご報告させていただきます。

そのときご出席いただきました委員の方、ちょっとお立ちくださいましてお顔を見せさせていただきたいと思います。私を含めまして6人で審議をいたしました結果をご報告させていただきます。何か違っていたら遠慮なくお言葉を挟んでください。

それでは、ご報告させていただきます。

過日、7月22日に平成20年度協働推進事業の評価を行う部会がございまして、9月24日に平成22年度協働推進事業案について報告を受ける部会が開催されましたので、その細部にわたり漏れなくご報告させていただきたいと思います。

22日の部会では、事務局から20年度に実施した事業について、本日配付されております資料6-1、6-2に基づき説明を受け、それについて審議を行いました。各委員からはおおむね妥当であるというご意見をいただきましたが、それぞれの委員から出された主な意見やコメントについて簡単にまとめて報告させていただきます。

6-1をごらんいただきますと、安全・安心まちづくり推進事業については、かつてこの会でも取り上げられました青色防犯灯の設置により犯罪件数は実際に減っているのか、また、その青い色というのは防犯灯では冷たい、寒いなどの声が多くあるように思うが、反応はどうかという意見がございました。実際結果の一覧表の中で、まちの中では犯罪が減ったということをご報告を受けましたので、では、それはまだそのまま継続してみましようということになりました。

それからもう1つは、区民の手で花いっぱい中原事業についてはどうでしょうかということで、植栽場所に誰が管理しているのかという立て札を設置したほうがよいのではないかという意見がございました。

それから、6-7の中原区市民提案型事業については、審査方法とか審査の基準、応募数など詳しく知りたいとのご意見がございました。このことについて区からの説明があり、事業の募集方法等については、区のほうでよく考えてやっていただけているようにした。

以上のように、事業全体、事業の方向性などから協働推進事業について活発な議論をいたしました。

それから、9月24日に行われました部会では、資料6-3に基づきまして22年度実施事業案について事務局から説明がありました。各委員から出された主な意見やコメントは簡単に報告させていただきます。

子育て支援者養成事業についてということで、皆様から、どのような事業なのか詳細が知りたいという意見や実際に地域の子育てでは、子育てサロンのお手伝いをしてくれる人の人数が不足しているので、よい事業だとは思いますが、その辺のご意見が多々出ておりました。

た。不足しているというのは、各町会などではやっぱり町会長を中心によく考えておられるようです。

それから、事業一覧表の6 - 6で、区役所のサービス向上事業についてはどうでしょうか。これはそれぞれのご意見が出ておりましたけれども、以前と比べると、皆さんもご承知のように、大変中原のサービス、サービスという言葉は大変失礼でございますけれども、区役所に従事している職員の方たちは大変顔つきもよろしいし、立ち居振る舞いも非常に皆さんにいい感じを与えているという、とてもいい意見がその場で出ました。どのような事業が行われているかという意見がございましたけれども、そういう点では、皆様、区役所の窓口へいらして、多分それぞれにお気づきの点がたくさんあったと思うんです。以前とは随分変わりましたよね。ですから、その辺は随分区長様を初め皆さんが心遣いをしているのではないかなと思いました。

それからもう1つ、事業の一覧表の中で6 8、中原区市民提案型事業について。地域特性を生かした事業展開をしてほしいとの意見がございました。これはまた提案型事業の募集をする時に皆さんがそれを考えていただければいいのではないかなと思うんですけれども、大体そのくらいのことで皆さんお話し合いをいたしました。

最後となりましたけれども、皆さんも、たまたまこの委員の中で5人だけが参加いたしましたけれども、その他でお気づきの点があれば、一言二言お伝えしていただければよろしいと思います。

事業を実施する際には、ただいま報告いたしました協働推進事業検討部会の審議結果を参考としていただけますよう、特に区のほうへお願い申し上げました。確かに見てみますと、いろんな事業をするにはそれに伴う予算もございますので、一概に私たちが一方的に考えてどうこうということは言えないと思うんですけれども、この前審議した結果は以上のようなことでございます。気がつきましたら、どうぞご指導の言葉をよろしく願います。

藤枝委員長 ありがとうございます、今の横川委員からの報告についてまたご質問があればいただきますけれども。ございませんか。

(3)「まちの魅力を見つける」

中原歴史散歩の会 中山 博夫

「まちの魅力を見つけることは楽しみである」

藤枝委員長 それでは、今回の検討テーマは第2期の最後のテーマとなります。先ほど鈴木副委員長からの報告にありましたように、「まちの魅力を見つける」というのが今回のテーマです。本日の会議では、中原区の持っている魅力をできる限り把握していきたいと思えます。

会議に先立ちまして、委員の皆様からアンケートを全部いただきました。アンケートを

集計しましたので、その結果について事務局から報告をお願いいたします。よろしくどうぞ。

事務局 それでは、アンケートの結果につきまして事務局から報告させていただきます。

資料の7 - 1、7 - 2、7 - 3、7 - 4、こちらが皆様委員の方からいただきましたアンケートを集計させていただきました結果でございます。資料ごとに簡単に説明させていただきます。

まず、資料7 - 1でございます。A 3の縦のものでございますが、こちらにつきましては、まちの魅力を委員の方の順に、縦に委員の方のお名前、横に分野、1番として、地域の中で大切に守り、次世代の残し伝えていきたい魅力、次が、中原区を訪れる区外の方々にアピールしたい魅力、次が、中原区のお気に入りの場所または思い出の場所、4番目として、中原区の自慢に思うものというものを横軸に4つ分野ごとに分けさせていただいて、委員の方からご意見をいただいたものの集計でございます。こちらにつきましては後ほど詳しくごらんいただければと思いますけれども、委員の方々にご自分の出された意見につきましてもう1度確認いただくとともに、皆様方の意見について参考にさせていただければと思います。

また、この中でちょっと網かけになっている部分が表の中にございますけれども、こちらは、ご意見のなかった空欄の部分をわかりやすいようにちょっと塗りつぶさせていただいたものでございます。よろしくをお願いいたします。

続きまして、資料7 - 2でございます。こちらが「まちの魅力を見つける」を質問別、分野分類ごとに多い順に並べかえさせていただいたものでございます。こちらはやはり先ほどと同じような形で、横軸が4つの分野、そして縦に多い順に上から並べさせていただいております。

そして、多い中から3件以上あった項目につきましては太枠でくくらせていただいております。こちらのほうは後ほど詳しく説明させていただきたいと思っております。

続きまして、資料7 - 3、こちらがA 3の横になりますけれども、アンケートの集計を分類ごとに並べかえさせていただいたものでございます。こちらは大分類として一番左側に自然、景観、歴史、文化、そしてまた右のほうへ移動していただいて、文化が続いております。産業、まち・施設、中分類として、自然の中に緑地、公園、水、生物・植物、景観の中に風景、そして歴史の中に史跡・遺跡、寺社仏閣、そして文化の中に伝承・民俗文化、スポーツ、文化芸術、産業を科学技術、農業、まち・施設を施設、商店、市民活動、その他と分けさせていただきます。こちらのほうにつきましては、一番右端に地域、その魅力が大体どの辺にあるものかというものを地域を書かせていただいております。また、地域を特定できないものにつきましては空欄という形になっております。

それでは、皆さんのアンケートの大まかな傾向につきまして、資料7 - 2を使いまして

説明させていただきたいと思いますので、資料7 - 2へお戻りいただけますでしょうか。こちらは多いものから並べたということで、皆さんが考えられている中原区のまちの魅力の傾向が一番つかみやすいのではないかと考えております。こちらの中で特に多く皆様方で挙げられているのが多摩川、多摩川もいろいろな魅力がありますけれども、多摩川の自然であるとか、水辺であるとか、緑地、また、多摩川に関しては歴史等、大きく多摩川に関するということと非常に多い意見が挙がっております。

次に、等々力緑地、こちらのほうも非常に多く意見が挙げられておりまして、こちらも緑地、それから緑地の中の一部、例えば桜並木であるとか等々力緑地内にある施設、このようなものを魅力ということで1つの等々力緑地という形でくくらせていただいて示させていただいております。それから多いのが二ヶ領用水ということで、こちらのほうも二ヶ領用水そのもの、また、二ヶ領用水にあります桜並木等が多く挙げられております。こちらのほうが皆様方、多いものから3つということで傾向が出ているのかなと考えております。

続きまして、このアンケートと関連いたしまして、このまちの魅力を皆様方、各委員の方がどのように取り組んでいくことができるかというのもこのアンケートであわせて皆さんにお答えいただいております。こちらにつきましては資料7 - 4、A4の用紙になりますが、こちらのほうになります。こちらで皆様方から挙げられているのは、魅力について講演するであるとか、魅力のあるイベントであるとか、行事に参加するであるとか、協力する、また魅力について発信していく、広報していく、紹介していく、このような意見が挙げられております。詳しくは後ほどごらんいただきたいと思います。

事務局からのアンケートについての報告は以上でございます。

藤枝委員長 ありがとうございます。こうやって見ると、中原区というのはすばらしい魅力のところがいっぱいありますね。特に多摩川は圧倒的に多かったです。今の事務局の説明で何かお聞きになりたいことはございますか。 ないようでしたら、次に委員の皆様の話し合いというか、ご意見をいただくんですが、その前にゲストとして中原歴史散歩の会から中山博夫さんにお越しいただいております。

それでは、初めに中山さんにご講演をお願いしたいと思います。中山さんは、中原歴史散歩の会で郷土の歴史について研究されている方でございます。日枝神社なんかでも芳賀さんと一緒になって皆様を引き連れているいろいろ歩いている姿をよくお見かけしますけれども、本日は、今回の区民会議のテーマである「まちの魅力を見つける」について、「まちな魅力を見つけることは楽しみである」というテーマでお話をさせていただきます。

それでは、中山さん、よろしくお願いいたします。どうぞ。

中山 ただいまご紹介いただきました中山です。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、各分野で活躍をされている皆様の前でお話するのはどうかなと一瞬思ったんですけれども、私の話がこれを決めるのにその一助になればいいなと思って出てまいりま

した。どうぞよろしくをお願いします。

ここにもありますけれども、まちの魅力を見つけることは楽しみである、何だ、変なことを言うんだなというような気もするんですけども、お許しをいただいて、楽しみであると。歴史そのものというのは聞いていても非常につまらないものなんです。ですから、楽しみであるということを前提にしてお聞きいただきたいと思います。

この魅力というのは、私が考えていることと、また皆さん方の考えておられることと違うと思うんです。それは、私と今小学校に通っておられる皆さんとの考え方も違います。また男性と女性とも違います。それから、その方が今まで生きてこられました生きざまによって少し違うのではないかなということがいたします。ですから、決めるのは皆様方が決める、その一助としてお話を聞いていただきたいと思います。

2番目として、魅力の範囲が広いので、今回のような設問があると非常に出しやすい。委員の方も大分大勢、20名近くいらっしゃるんですが、さて、この設問がないとなかなか出しにくいんじゃないかと思うんです。やはりこの設問の中に、次世代に残して伝えていきたい魅力とか、あるいは中原区にいらした方に伝えたい魅力とか、そういう設問を挙げることによって皆さんが回答をされるということで、今回の区側の、行政側の設問としてはとてもいいんじゃないかな、そう思いました。

それから3番目、中原区には魅力がたくさんあります。これは先ほどもお話をされておられましたけれども、よその区に行かれましても、中原区はいいな、中原街道があるからいいじゃないかということで非常によく言われるんですが、やはりそのとおりなんですね。ですから、東西南北に非常に広い場所でございますが、そのまちの隅々までにいろいろな神社仏閣、あるいは最近の魅力に関するものがたくさんありますので、どうぞそこから拾っていただきたいと思います。

それから4番目、小さな細やかな資料にこそ楽しみがいっぱいあります。これは、勉強していくうちにいろいろな資料を見ていくわけなんです。資料を見たり古文書を見たり文献を見たりするんですが、それには皆さん全く同じことが書いてあるんです。そうでなくて、例えば二ヶ領のせせらぎ館の近くに行きまして取り入れ口の話があります。そうすると、その町会の方たちが書いておられるものがあるんです。これは私が持ってきたんですが、この1ページのもので、1ページの一番最後の3行目に、ほんの少しだけなんですけど、書いてあるんです。これを言いますと、二ヶ領用水豆知識、宿河原取り入れ口先行説と書いてあるんです。これは、取り入れ口が今2つありますよね。その2つがどちらかなということでいろいろと議論をされている最中なんです。その決定をされるのはそれぞれ学者の先生方がするんですが、私たちはそれを読むだけなんです。ただし、読むんですけども、こういう小さなものの中にも、とても私たちが読んで楽しいな、いいことが書いてあるなということがたくさんありますので、しおりとかパンフレットとか、そういうものをごらんになる癖をつけたらいいかなということがいたします。

私の持ち時間は20分ということで決められておりますので、どんどん進めてまことに申しわけないです。

今まで私がいろいろあちこち歩いていて楽しく感じたこと、それを今お話ししますと、私は天神町に住んでいるんです。そうすると、その近くというと、この周りのことしか今ここに挙げていないんですね。一番最初にお話しするのは、上丸子天神町の天神様の改築記念碑の改築年月日、これがいろいろな本を読んでいますと、自然堤防であった昔からずっと地域住民の方たちが堤防を造ってくださいますということで、県や都や、あるいは国会に請願をして、やっと50年ぐらいたって出来上がったんです。それで、大正7年から昭和8年まで約15年かかって出来たんです。そのときに河川敷の、今は外になりますけれども、天神町の丸子橋の近くにあった天神様が行く場所がなくて今の日枝神社に行ったんです。それでまたいろいろありまして、最終的には今の天神町に戻ってきているんです。その天神様の前に改築記念碑というのがあります。そこで、私、今から10年くらい前に拓本をとったのがあるんです。それを見ますと、昭和4年の9月ということが書いてあるんです。いろいろな本を見ますと、昭和の初年に日枝神社から天神様に移ったというように書いてあります。そうか、自分の読んだことがそのとおりだなというようなことがそこで1つ感じられました。

2つ目として、丸子山王日枝神社の天神様の移転前の台座ということが書いてあります。これは一時青木根の部落から今の日枝神社に移ったその場所が、ご存じの方もあると思いますが、裏から入りまして左側に昔のコンクリートでできた台座があるんです。それは大きさが今の天神様の台座と少し大きさが違うんです。なるほど、今のものは、河原の中、青木根から移したときの建物と戻ってきた建物が違うんです。向こうにあったのはカヤぶきの屋根だったんです。今戻ってきているのはそうじゃないんです。だから、そういうことで少し違うかなということで、台座がやはりそこにあったと。そういうものを見つけてることによって、自分でスケールを持って行ってまた調べるんです。そうすると、少し違う、どうして違うのかなというようなことで、そこで疑問が出ます。それを、そうか、そういうわけで違ったんだなということがわかります。そういう楽しみもあります。

それから3番目として、小田原北条家系図と泉澤寺のことなんですが、皆さん泉澤寺はご存じだと思いますが、泉澤寺はやはり足利時代からの名門で、足利家から泉澤寺に来ておられるんです。それで、当時、小田原北条が、皆さんご存じのとおり、あの方の北条早雲という名前がついたのが北条の2代目くらいについたんです。それまではやはり伊勢新九郎という名前だったんです。出どころはちょっとやはり皆さんにはお話のできないような生活もされておられた方なんです。そうやって関東へ打って出るのに、泉澤寺は吉良家のお墓でございますので、どうしても吉良家と縁を結びたいということで、吉良の3代目、こちらに来たときは吉良家はもう16代目か17代目なんです。だから、江戸の例の討ち入りの吉良家とは派が少し違います。違うところの吉良へどうしても来たいために、北条

から早雲の孫娘がお嫁に来ているんです。それからそのまた娘も来ているんです。そういうことを読んで、そうか、そういうこともあったのかと思いながら小田原城へ行ったときに、一番上の層に上ってみますと、早雲の家系が書いてあります。その中に女として書いてあるんです。当時は長女とか次女ではないんです。ここに長女がいたと思ったら、またこっちに長女が出ちゃったら大変ですから、女、女、女と書いたんです。その中の早雲の孫娘がお嫁に来ていると。それからその下の娘さんもまた来ているということで、これもやはり泉沢寺と縁があるんだなということがそこで発見できました。

それから、等々力緑地内の道路を大岡越前が決定と書いてありますけれども、やはりこれも、今あそこにあります等々力の競技場の前の道路、あれは1717年、私はいいな、いいな、享保2年と覚えたんですけれども、1717年、ちょうど大岡越前が奉行になった年なんですけれども、あそこの道路がまだ東京の等々力と川崎の等々力が、東京が親村で川崎のほうで枝村であるころ、やはり船で行ったり来たりしておりまして、大きな大水が出て、その境界線がわからなくなってしまったんです。そのときに大岡越前、奉行10人の連署で裁決した道があので等々力陸上競技場の桜道なんです。そういう話を聞きました。

それで、今度、等々力ミュージアムに古代から現代までの展示がされております。あの常設館の中の江戸時代の項に行ったら畳1畳ぐらいの大きな図面がありまして、その裏に大岡越前の名前が書いてあります。表は何かというと、当時は色がなかったんでしょうね。墨で大きなこちらだ、こちらだと裁決をした道だということがちゃんと書いてあります。あそこはたしかある年代になりますとただで入れると思いますので、1回行ってごらんになれば面白いかと思います。そういうことも1つの探すことによって楽しみがあるということです。ですから、これはあくまでも私個人の感じたことですから、皆さんがどう感じるかはまたわかりません。

ただし、今話したことは、何だ、みんな知っていることだという方もいらっしゃると思うんですが、私なりにそういう考え方で勉強してまいりましたので、その一助になればと思ひましてお話をさせてもらいました。

1つ飛ばしておりますので、等々力緑地の池のところに書いてあります。これは川堀が砂利をとるのもうだめになってしまったんです。それで陸堀になったんです。陸堀になってたくさん東急が機械掘りをしたために、今度それを運ぶのに大変なことになってしまったんです。それを今の新丸子の駅から線路がずっと引かれて、今の東横池の中、あるいは宇奈根あたりまでずっと河川敷の中を線路を引いたということが書いてあります。それで、川崎市の地図でなくて、これは世田谷の地図です。世田谷に行って、もしかすると、青木根が一番最後のほうだから載っているんじゃないかと思って、世田谷の古文書の中で地図を探してもらったんです。その中に線路の跡がちゃんと載っておりました。そうかなということで、そこでまた楽しくなった次第であるということでございます。

どうも済みません。

藤枝委員長 どうも中山さん、ありがとうございました。今度等々力緑地を歩くときは、ここが大岡越前の道だと思って歩くと、また別の感じがするかなと思っております。

(4) 全体意見交換

藤枝委員長 では、今のお話を踏まえまして、中原区の魅力について、また魅力の発信方法などについて委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。また、中山さんへの質問がございましたら、あわせてお願いいたします。時間を見まして、お一方、最初から時間のことばかり言って申しわけないんですが、2分ないし2分半しかないので、今日は反時計回りで吉房委員のほうからお願いいたします。

吉房委員 わかりました。私が一番先にやらせていただきます。

今、中山さんからいろいろと聞きまして、中原の歴史をまた私も私なりにいろいろと勉強させていただきました。ありがとうございました。

私は今、藤枝さんの指名がありまして、トップでやるということは初めてなんです。今までは一番最後だったんですが、今日私はこの「まちの魅力を見つける」、中原区の魅力を見つけるということに関しまして、この魅力を見つける前のいわゆる中原のまちの一番いいところは、私は私なりに考えて、一番最初には中原の魅力は人です。というようなことで、それを書こうと思ったんですが、これだとちょっと自分を顧みなければだめだなと思ったんですが、でも、そういうことを自分で頭に植えて今日は来たわけでございます。とにかく魅力は中原は人ということをやろうと思ったんです。

ところが、私は、自分で歴史、また現代のことに関しまして12意見を出しました。結局最初に言ったのは、人というのは、中原の先人が住んだことは、その人たちが一緒になりまして、何人住んだかわかりませんが、記録によりますと、その先人が中原を築いた。それが人、人で組んで中原のまちをやったということで聞きましたことで、それで人ということ私を魅力の1つに入れようかと思ったんです。

ここは先ほど中山さんが言ったんですが、私がちょっと歴史を振り返りますと、1万年前ここは海だったんです。ここは古多摩湾という名前で、溝口から向こうが古多摩湾、今、二子に兵庫島というのがありますね。あの兵庫島というのは多摩川の昔の古多摩湾の残りの島なんです。それが今の私たちの中原の先人が、今の井田山、あそこに住んでいたと聞いております。それがもっといたのかもわかりませんが、それが一致団結してこのまちを築いたと私はそう思っています、魅力ある中原は人ということをやろうと思っています。

でも、今日はその話はさておきまして、私は12件出しました。その中に、歴史のこともう中山さんがいろいろ、中原の歴史は皆さんがいろいろと研究して知っていますので、それ以外のことに私は魅力があるということを言います。1つは、中原が一番いいところは水がいいところです。この水のいいところは、やはり水道水、皆さんペットボトルで買っ

て飲んでいる方もいると思うんですが、多摩川の上流から水をとって、その水を私たちが水道、その恵みで生きているわけでございますので、とにかく中原はまず水がいいこと。

それから、穏やかなまち、この穏やかなまちはいろいろとありますが、今日この台風が来ても、ここはうまく逃れた。また地震もまだない。ただ、いつあるかわかりませんが、私も、私が今80年生きていますけれども、その間にこれというような大きな天災はなかったわけございまして、そういうことで穏やかなまちということで2つ挙げたわけでございます。

もう1つは、私たちの目を、また心、そういうものを豊かにしてくれるものは、この二ヶ領用水上に植えてあります桜の木、また桃の木、そういうことに関しまして私たちの心を和ませてくれるというようなことで1つ挙げております。

また、もう1つは交通が非常にいいということ、これは、まず中原はどうして交通がこんなにいいんだろうということが一番私は思ったんですが、まず東横線、南武線、これから新駅ができますが、横須賀線があります。もう1つは、便利になったことを言いますと、中原というところは東西に南北38キロ、幅が18キロありまして、中原は日本で一番街道の多いところということで、これは私ども自慢するところでございます。それはどこか東海道、綱島街道、中原街道、大山街道、それから芝溝街道といろいろありますけれども、数えても切りがないほど街道があります。そういうことで、日本で一番多い街道、この街道があったからこそ中原が発展し、現在があったということは私はそういうことで認識しております。

そんなことで、今日の中原のまちの魅力を見つけるというテーマでございますので、以上私が話したこと、まだいっぱいありますけれども、制限時間があると思うので、ひとつ私たちの先人がこの土地をつくって私たちができた、また、こういうような和やかなまちができたということはすばらしいと思ひまして、皆さんに訴えたわけでございます。

以上でございますが、なかなかうまく言えませんが、今日のテーマであります「まちの魅力を見つける」ということのほんの一部を話したわけでございますが、以上をもちまして私のお話はそれだけでございます。どうもありがとうございました。

藤枝委員長 吉房さん、ありがとうございました。

では、横川さん、お願いいたします。

横川委員 ほとんど話をしてしまいましたから話すこともなくなりましたけれども、本当に川崎はウナギの寝床のように7地区になっておりますけれども、各地区のいろいろなところを回りましても、非常に均整の整った、バランスのとれたいいまちだと思うんです。自分に合わせて苦情を言えば切りがないのでございますけれども、60年前の焼け出されたまちから立ち上がったにしては非常にモデルのまちではないかと思うんです。そして、川があって、桜もきれいだし、日本の代表する風景も十分備えていますから、本当にそれを十分に活用すればよろしいのではないかと思うんです。そして、神奈川県にたった1つし

かない平和館もございますでしょう。あれを全然存じ上げない方もたくさんいらっしゃるんですよ。わざわざ三浦とか箱根からも見学に見えるほど大事な館でございますので、今は戦いとかそういう平和じゃなくて、心の平和にも必要な館でございますので、お暇があったらほとんど立ち寄っていただきたいなと思います。

それに、特に多摩川ベリの八幡町とか山王町というのはお寺と神社が同時にそのまちにございますので、子どもたちが始終伝統の行事に参加いたしまして、親もそれを同時に指導しながら覚えさせておりますので、比較的この中原のまちには子どもの犯罪が少ないのではないかなと感じております。

それから、文化の面でもプラスバンドのトップ、法政とか大西とかというのも、県下の名立たるトップを切っているのはみんな中原の学校でございます。それから、いろんな歴史でも、今日はびっくりしました。偉い方のお名前が出たり、昔タカ狩りをしたとか、殿様がここを通ったとか、小杉神社とか中原街道祭りというのが残っている以上、歴史も大変立派なまちだと思います。

行政がやはりそれを上手に展開してくれておりますので、それを上手に生かして、物価も安いし、交通も便利ですし、そして、救急車でたらい回しをされたという話も全く聞いておりません。川崎を通して一番住みよいまちではないかと。私は息を引き取るまでこのまちにいたいなと考えております。

以上でございます。ですから、皆様も本当に知らないまちをひもとして、ご存じなかったら、平和館とか常楽寺とかいろんなところをごらんになっていただきたいなと思います。

以上でございます。特に申し上げることはもう親分が言ってしまいました。

ここは富士通とか日本電気という大きな会社がありますので、若者をぜひこのまちから採用していただきたいなと思って、一人でも不採用のないように、働けるように、会社の方たちが地元において還元するのはそういうことだと思っております。

矢野委員 今、工場という話が出ましたけれども、私どもは工場の代表として来ております。場所は中丸子なんですけど、昭和13年に新丸子のほうへ東京のほうから来まして、その後、中丸子に32年に転出して現在に至っているわけなんですけれども、私どもは多摩川の自然とか二ヶ領用水を、特に横須賀線が工場を移転しまして処分しちゃったんですが、350メートルほどの駅までの近くのところにあったものですから、そんなのでいろいろ再編成しておるところなんですけれども、多摩川のほうに関しましては、今、歴史のお話がありましたけれども、ここら辺、不思議な、中原区といいますか、多摩川沿いは感じまして、ちょっと上流のほうになりますけれども、等々力ですとか上野毛、野毛、下野毛、私どもは中丸子なんですけど、上丸子、中丸子、下丸子と、沼部のほうもそうなんですけど、東京都を挟んでこういう地名になっておるものですから、ちょっと仕事の関連で外へ行っていろいろ住所を説明しても、なかなかぴんとこない方が遠方のほうの方にはいらっしゃる

というようなことがありまして、改めてこちら辺の地名の由来じゃないですけども、何かアピールの仕方を考えなきゃいけないなと、そんなように感じています。

それと、今お話に出ましたように、電子通信関連の最先端企業さんがいらっしやいましたので、当時はこの近辺、協力会社ということで、私どもの近所もそうなんですけど、ある種ハイテク的な先端企業が集まっておりましたが、現状ではやっぱり移転その他で、工場ではなくて居住化してきているということですね。そこら辺での変わりつつあることで、別にそれを私どもがどうこう言う話ではないんですが、非常に付加価値が高くなりまして高く売れたというありがたいところもあったんですけども、そんなのがありまして、今度は駅ができるということで、どのような状況になるのか。これは行政のほうと地域の開発のほうとの問題が絡むかと思うんですが、ちょっとそこら辺が気になるところと申しますか、将来ちょっと楽しみというか、そんなように感じております。

藤枝委員長 ありがとうございます。

では、村山委員、お願いいたします。

村山委員 私は平成10年に千葉県柏市からこちらへ転入してまいりまして、いわゆるよそ者なんですけれども、中原区はもともと社宅とか独身寮とか、そういうところが非常にあった、いわゆる転勤族がいるところで、私が感じるところでは、よそ者扱いしない、寛容に受け入れてくれるところだなと感じております。

私が今度所属するNPO法人小杉駅周辺エリアマネジメントでは、『キラッと！小杉&丸子モールマップ』というのが、約9カ月ほどかかりまして、大分遅くなったんですが、このほど完成しました。小杉地区、丸子地区、向河原地区の商店街の協力を得て453店舗の紹介というような、いろいろと商店街の魅力とか、それから、その中には地域のこういうものがあるよというものも随分掲載されておりますので、いわゆる新しくこちらに住んだ方などには、マンションの新住民の方には全戸配布ということで考えておりますので、そういうまちの魅力がそのマップで紹介されるのではないかと考えております。

藤枝委員長 ありがとうございます。

では、松本さん、お願いします。

松本委員 私は、まず中原区の地形がとても平たんで、とにかく自転車でどこにでも移動できるというところにすごく魅力を感じます。平成14年に中原区の区制30周年の記念のときにできた、『この街のどこが好き？』というCDがあるんですけども、やはりそのフレーズにも、「自転車で行ける」。それから、とにかく今日出てきた魅力が全部そこに入っているんですね。国際交流、桜、等々力、多摩川、とにかくみんな入っているの、やっぱりこの歌はせっかくつくったものですから、今回の魅力発信にぜひぜひ活用していただきたいなと思います。

それから、やはり私も子育て支援をしておりますけれども、自然の中で子どもを育てるということは、とても感性も豊かになりますし、五感の発達にもとてもいいと思いますの

で、ぜひ自然を残して子どもたちの心をきれいな心にして育てていきたいなという気持ちを持っております。

藤枝委員長 ありがとうございます。

では、松原さん、お願いします。

松原委員 私は、地域の中で大切に守り抜く、また、次の世代に残して伝えたいということで、郷土の芸能、新城神社の曲持をぜひアピールしたい、こんなふうに思っております。先ほど水のお話が出ましたけれども、中原は、稲毛米とって非常にいいお米ができたところでございます。徳川家にも献上していたそうでございます。そのお米を入れる器は俵でございます。この俵を利用して農家の人たちが郷土の芸能を始めたというのが最初の出発だと、こんなふうに言われております。昭和53年の7月7日に川崎市の無形文化財を受けました。すばらしい、一度見ていただくと、魅力があるなと取りつかれることと思います。先月もTBSで録画撮りをしてテレビでも発表されました。ぜひ皆さんも新城の郷土芸能を見ていただきたい、こんなふうに思っております。

藤枝委員長 ありがとうございます。

では、若い人の意見として本目さん、どうぞ。

本目委員 若手代表としましては、今日のアンケートを以前に提出をしたんですけれども、これは私にとってはとても難しかったです。なぜかというと、そもそも中原区歴というのが長くないのでよくわからないというのがまず1点。もう1つは、日々の仕事だったり生活が優先で、どこのスーパーが安いとか、そういったことにはすごく関心はありますけれども、その周りの、私の住んでいる区は何が魅力なんだろうということまで考える余裕というのはちょっとなかったんです。でも、皆さんのお話を聞いていて、それからこのまちの魅力を見つけるアンケートの集計を見ていて、それはすごいもったいないなと感じて、けれども、やっぱり自分で調べていくというにはまだまだ時間が足りない。

それでは、どうすればいいのかとちょっと考えてみたんですが、小学生や中学生のときに、私は自分の住んでいた地域で自分の地域とはどんなものなのかというのを調べた記憶があります。今、中原区の教育でそのようなものがあるかどうかかわからないんですけれども、恐らくあるんじゃないかなと思います。その結果を何かうまく使って小学生、中学生の皆さんが出してきた結果を地域の皆さんで共有できたら地域としての一体感が出るのではないかなと思いました。具体的には、例えばホームページに1ページ、「3分でわかる中原の魅力」と題して何かつくったりとか、あとは転入してきた方に、1枚の紙ペラでもいいので、そういった魅力について発信する紙を渡すとか、そういったことがいいかなと思いました。

藤枝委員長 やっぱり住めば住むほど中原はいいところですから。

では、藤嶋委員、お願いいたします。

藤嶋委員 ことし9月23日には等々力競技場でスーパー陸上がありました。また、去年は

北京オリンピックで金メダルをとった選手たちが集まってみんな競技をいたしました。そのような川崎の区で中原区だけが等々力の緑地を持っているということで、それを生かしまして、その小杉から競技場までの道、また中原への道、その道をもっと盛んにして、例えば狭いとか暗いとか、お店が早く閉まってしまうというようなこともあるので、そういうのもっと活性化したほうがいいのかなというような思いであります。そして、新しく来た人たちはみんなまず区役所に行くので、区役所に大きな写真のパネルでもつくってまちの魅力を紹介したらどうかなと思いました。

藤枝委員長 ありがとうございます。

では、芳賀委員、お願いします。

芳賀委員 設問が各項目3つだけしか欄がなく、実はもっともっと中原には魅力があったと思うんです。ですから、書き切れなくて非常に困りました。

それで、1つだけ欄外をつけさせていただいて伝えていきたい魅力のところのアミガサ事件と有吉堤というのを入れたんですけれども、これは、明治に入って農民が県庁に押しかけたという、江戸時代で言えば農民一揆みたいな大事件だったんですけれども、それを当時の知事はのりくらしと受けたという、そこまではあれだったんですけれども、次に来た有吉知事は半月ぐらいでその話を聞いてすぐにも工事をしてくれたということで、中丸子の方たちが洪水から免れることができたという、非常に語るも涙というような美しい話というか、残酷な話というか、非常に中原区の歴史の中に残るものじゃないかな、そういうこともぜひこういうところで残せていければと思います。

どうしてもこの設問の内容でいきますと、形があるものばかり答えるようになっちゃうんですね。ですけれども、そういうことでなくて、そういうことも1つ残して後世に伝えていく大事なことかなと思っています。

それからちょっと二、三挙げさせていただきますと、この間、等々力の工業会というところの展示場を見学してきたんですけれども、等々力緑地の北詰めの方に、幼稚園の後ろのところに工業団地があるんです。町工場がいっぱい集合しているということで、最初は何か、建物も非常に立派なものではないものですから、どんなことをやっているのかなと思って見たんですけれども、説明を聞きますと、非常にハイテクの技術を持った職人さんと言ったら失礼なんですけれども、工場の従業員の方たちが川崎の技術を支えているというんですか、結局富士通さん、NECさん、日本に冠たる企業があるんですけれども、そちらを支えているのもそういう会社の方じゃないかなと思まして非常に感心してまいりました。そういうところをちょっとここに書いてありますので、挙げていきたいなと思っております。

ちょっと時間の関係もあるので、この辺でやめさせてもらいます。

藤枝委員長 ありがとうございます。このアミガサ事件なんかは知らない人は大分いらっしゃると思うので、これを機会にまたわかっていただければなと思っています。

内藤委員、お願いいたします。

内藤委員 私は2点ほど。1点は、まちの魅力というのを考えたとき、私はもう住んでいる人の魅力、住んでいる人の魅力とは何かといたら、笑顔の魅力、やっぱりそのまちでどういう笑顔に会うかによって私たちはそのまちに対するイメージが大分違う。この委員会でいろいろ見つけることはもちろん大賛成で、これはいいんですけども、笑顔の大切さというのをもう1回大人から見直していきたいな。

私は、青年海外協力隊でエチオピアに行ったのが今の自分の人生の大きな転機になったんですが、やっぱりエチオピアの子どもたちの笑顔でそれ以後の自分の人生も変わりましたから、中原区の笑顔をぜひいっぱい欲しいなと。

1つちょっと残念なのは、資料の3の裏のところ、ポチの3つ目に、これは中原区役所かどうかわかりませんが、「来庁者全員に平等に接してほしい。顔見知りには親しくし、初めての人には無愛想では困る」。これは私のもとにも、中原区に割かし住んで新しい若い人からこういう意見を私もいただきました。ですので、確かに中原区の中の窓口はずっとよくなっていると思いますが、私も長く来ていますので、皆さんと、親しい方と顔を合わせると本当にほっとします。ただ、やっぱり新しい人が今増えているので、ぜひまた区長さん、改めて皆さんに笑顔を、区役所の人始める前に自分で笑顔をつくってみるぐらいのプロ意識を持っていただきたいな。

2点目は、この「まちの魅力を見つける」、資料5の表はよくできていると思います。

の「魅力」の共有というところなんですけれども、先ほどご説明された方は、魅力を支える人を支援したいという言葉が出て、すごくいいなと思いました。やはり魅力を支える人はその現場現場で物すごくご苦労されていると思うので、それをやっぱり何かみんなを支えていければなと。

私の提案は、先ほども多分どなたかが言いたかったと思うんですけども、これだけ大人が集まって中原区のいいところを話しているんですけども、それを何をしなくちゃいけないかということ、次世代に、子どもたちに伝えないと意味がないわけなんです。ですので、この中に中原区民と共有とかあります。もちろん中原区民に子どもたちも入っているといえばそれまでなんですけれども、つまり、この区民会議は区民会議だけでいろいろ話をしていいところを見つけるだけじゃなくて、例えば小学校、中学校、高校学校にどういうアプローチを私たちができるかどうか。この中には行動力の旺盛な人もいらっしゃるし、できれば区民会議発信で本当に子どもたちにいい日本、いい中原区を伝えていく動きを僕はできればしたいな、次の世代に大人の気持ちを伝えるというような形で小中高等学校への何かアプローチができればいいんじゃないかな。

せんだって東横線で見たら、高校生が女の子たちが数人でパンを食べているんですね。私もおながすけば電車の中でパンとかお茶とか飲むことがあるのでいいんですけども、ただ、席が空いたときに、彼女たちは置いていたバッグを足で飛ばして移動し

たりして、非常にうっと思ってしまうんですけども、中原区の子どもたちでなければいいなと思うんですけども、とにかくそういった面で、大人から見ると、一生懸命大人がこれだけのことをやっけていても、それを子どもに伝えなければ一過性のもので終わってしまうのでは私たちの努力がむなしなので、ぜひ何か子どもたちに伝えるような動きとか活動につなげていければいいかな。その2点です。

藤枝委員長 ありがとうございます。内藤さんはエチオピアへ子どもさんをいろいろ救出とか何かで大分長く活躍されているので、余計子どもさんへの想いが多いと思います。

では、富岡さん、お願いします。

富岡委員 私は、やはり多摩川というのはとても素晴らしいなと思っております。以前下水が多摩川に流れていたころ、シャボンの泡がいっぱい泡立ちまして、魚がすめないような川になってしまったころがあります。その後、下水が完備いたしまして、今とてもいいきれいな川になってまいりまして、魚も遡上してくるといような川になってまいりました。その河川敷もどんどん整備されまして、きれいなグラウンド場とかいろんなスポーツをする施設ができました。サイクリングロードもできましたし、本当に多摩川が市民の皆さんが活用できる素晴らしい川になったのかなと思っております。

それから二ヶ領用水、ここに桜が植わっておりますよね。これは私が小学校のころ、町会の人たちが桜を植えているのを私は見ておりまして、それが今育ちましてあのように大木になりました。多分50年ぐらいたっておるのじゃなかろうかなと思っておりますが、本当に今皆さんがお花見とか、そういったことで活用いたしまして楽しんでおられます。とてもいい環境だなと思っております。

それから、井田山がございますよね。また私の子どもころの話ですが、あのころは雑木林がたくさんありまして、友達としょっちゅう暇があると遊びに行ったような山でありました。これもとても今残っておりまして、井田山はぜひ環境として残していただきたいなと思っております。

また、等々力緑地も素晴らしいところで、昔は砂利堀がありまして、よく夏休みの前に校長先生があそこで遊ぶと危険だからだめだよなんて言っていて1人か2人死んじゃったんですよ。そういう危険なところだったんですが、私どもも子どもころはあそこに遊びに行きました。釣りをやったりとかいろんなことをして遊びました。とてもいいところだと思います。今とても環境が整備されまして、施設もちゃんとできましたし、アリーナもできましたし、とてもいいところだなと思っております。

それから平和公園、あそこも大きな公園ができてよろしいなと思っております。あそこは昔アメリカ軍の駐留地でございまして、印刷工場なんかやっております。それを返していただいて公園になったのでかなり広い面積があります。あそこもとても素晴らしいところだなと思っております。

時間がないので終わります。よろしく申し上げます。

藤枝委員長 ありがとうございます。東横線のところのあぶくはすごかったですね。考えられない。戦前の多摩川とはまるっきり変わりました。でも、ここのところできれいになってきました。

では、杉野委員、お願いいたします。

杉野委員 皆様、大分やったので、私は全部やりますととても時間がありませんので、1つだけお話ししたいと思います。

この中に私は、音楽のまち・かわさきとよく言いますけれども、まちというと、川崎というのはもっと規模の大きいもので、何とか音楽のまち・なかはらというふうにいきたいなど。音楽が好きなんです。小さいときには野球が好きで、中学生ごろ朝から晩まで野球をやったのを覚えています。ある年齢になってからは急に音楽が好きになりまして、話がちょっと飛んじゃうんですけども、今子育てをやっているんですけども、その中でブラスバンドをつくったんです。

どういうことをつくったかといいますと、昔、中学校、高校のときにブラバンをやっていた、そういうお母さん、お父さん、そういう人たちが子どもを遊ばせながらできるような練習場でやって、子どもの面倒を見ながらブラスバンドをつくらうよと言ったのがこの2年間ぐらいで60名以上になっちゃったんですよ。レベルもかなり高いんです。どういうことかというと、やっぱり中学、高校で音楽をやった人というのは上手なんです。私も少しはやるんですけども、何とかこれを支援したいなと私は思いまして、そして、『なかはら子ども未来フェスタ』いうのを中原区の子育てでやっていますので、そこで一度来てもらったんです。ことしも開催日の11月28日に来てやってもらおう。名前が武蔵小杉ファミリーウィンドオーケストラというんです。大体やっている方が小さいお子さんの両親、またはお母さんとかお父さん、そういう人たちでつくっているバンドで、僕はレベルも非常に高いと思っています。これは将来楽しみだと思っています。

大西学園を先頭にして、ブラバンではかなり中原というのは有名だったんですね。そういう意味も含めまして、何とか武蔵小杉ファミリーウィンドオーケストラという名称を持って、中原の今井で団長さんがいるんですけども、頑張っって皆さん、本当に週に一、二回必ず練習をやっています。それは中原市民館が中心です。

横川委員 一度聞いてみたいです。

杉野委員 11月28日に区役所で開催の『なかはら子ども未来フェスタ』でやりますので、ぜひ聞きに来てください。

以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

藤枝委員長 最近音楽というと、昭和音楽大学の関係で麻生区に大分お株をとられちゃっているの、中原も負けずに、頑張りましょう。

では、佐野委員、お願いいたします。

佐野委員 佐野でございます。中山さん、すてきな話ありがとうございました。私も知

識的なことは全くよくわからないんですけれども、歴史的なところ、写真を撮るのが好きなので、今日は私の好きな中原の魅力ということでお持ちいたしました。桜の季節が好きなので、桜の季節のみならず、四季折々の写真を撮らせていただいております。

地域の中で大切にしていきたいというところで、私は多摩川の自然を1番に挙げさせていただきました。私も雄物川というある県の川の本当に土手の近くで生まれましたので、川は第二の私のふるさとでございます。そんなところで水辺のあるところは本当に好きでございます。そんなところで出させていただきました。

いろんなことはほかの委員さんの方々がおっしゃっていただきましたけれども、川崎市は外国人の人口が全国でもトップというお話で、約2割外国人がいらっしゃるといことなんですけれども、横川委員がおっしゃった国際交流センター、私はあの辺、20歳のころ、仕事で米軍の印刷所があって、高い塀があって、あそこを通った記憶がありまして、非常に懐かしく、公園になったということは素晴らしいことだと思っておりますし、中原の中には、平和館のみならず、川崎の中でも1個しかない等々力緑地、その中にはミュージアム、公文書館、等々力アリーナ、陸上競技場などいろんな中原でなければならぬものがたくさんあるので、芳賀委員ともよく行きましたけれども、中原七福神も本当に中原だけの7つのお寺めぐりがあるので、中原が川崎の中では一番だと私はいつも思っております。

他都市と比べても本当はないものが川崎の中ではいっぱい持っておりますので、特に中原中心に本当に発信下手にならないように、それを生かしてぜひやっていっていただきたいなと思っております。

さっき吉房委員は帰られましたけれども、私も自慢の中に温かい人柄を入れさせていただきました。自然もそうですけれども、子どもが育つ上では土と触れ合って遊ぶことというのは非常に大切なことです。この人柄を育てるために今の子どもたちの成長を応援していけるように、いい中原にしていきたいなと思っております。

せっかく今日の資料をたくさんいろいろ出させていただきましたし、皆さんからも出させていただきました。先ほど小学生や高校生、青年たちの幅広い人たちからご意見をいただいて、中原の観光や魅力、歴史などを知っていただくよい機会じゃないかなと思っております。中原の魅力をまとめた観光スポットを大々的にPRしていただいてやっていただけたらありがたいなと思っております。子どもなんかも、新幹線が見えるところ、南武線のところが好きなんです。鹿島田のほうに行きますとディーゼル機関車があって、金太郎電気機関車とか桃太郎電気機関車とかというのが子どもさんは好きなので、そんなところも1つのスポットとして、新しいものを掘り起こしながら老若男女が楽しく見れる何か形のあるものにして、魅力の支援もそうですけれども、魅力の発信も中原からしていただきたいなと思っております。

藤枝委員長 ありがとうございます。川崎には七福神はたしかないんでしょう。中原七

福神が代表的な、確かに今言われた操車場に行くと金太郎とか桃太郎という機関車がありますね。またいろいろ楽しみがふえました。

では、川連委員、お願いします。

川連委員 川連です。私はほかの委員の方とはちょっと頭の程度が違うので、物すごく単純に中原区内の魅力発見といえますか、私は写真が大好きで、趣味もそれしかないんですよ。一昨年までは余り中原区内も歩きませんで、そういう素晴らしいところも全然知らなかったんですけども、今、区民会議の委員とまちづくり推進委員会の広報部会のカメラマンを担当しておりまして、昨年からは中原区内をこの足であちこち歩き回って、きれいなところだとか自分の気に入ったところを写真に撮って歩いております。今日も皆さんにちょっと見ていただこうと思ひまして数枚写真を持ってまいりました。

これからもちろん写真は一生懸命撮りますけれども、今月の22日、一般の区民の方も含めて広報部会の委員とともに、井田山に小さな秋を見つけるというテーマで写真を撮りにまいります。これもどんな写真が撮れるかわかりませんが、みんなで写真を撮るのを楽しみにしているところでございます。

藤枝委員長 さすが写真のプロですね。この写真、傍聴者の方にも見せてあげてください。素晴らしい写真です。すごいですね。

では、続きまして、大下委員、お願いします。

大下委員 いつもこういった意見交換では名前の順でトップバッターで緊張していましたが、やはり最後というのも緊張するものだなと今感じています。

私は、中原区に住まわせていただくきっかけは本当に単純に自分の都合で、都心部から近くて、自分の中で経済的にも住める範囲かなというところがきっかけで、20数年前ですが、今の中原区に住まわせていただいて、でも、結果的には今こうして今こちらに参加いただいている皆様たち、先輩たちのおかげで子育てもとても充実してさせていただけるんだなとしみじみ感じている毎日です。

子育て世代の私としては、今、中原区の中では感じる魅力というのが、まず1番に挙げたいのは、子どもの徒歩で10分以内に大なり小なりの公園があるということ、これはとても子育て世代としては助かりますし、子どもたちにとっても公園というのは子どもたちのコミュニケーションの交流の場として一番の場所ですので、これからもこういった場所をどうぞ維持していただけたらと思っております。

そして、私は出身母体がPTA協議会ですので、こうした会議等で皆様方からいただいたいろいろな情報を収集して各学校のPTAさんたちにもさまざまな形で発信をしていけたらいいなと思っております。

藤枝委員長 ありがとうございます。

では、竹井副委員長。

竹井副委員長 竹井です。今の写真の話で言うと、多分写真を撮る側の気持ちというか、

余裕がないと、きれいなものもきれいに見えないし、いい写真にならないのかなと感じているんですけれども、やっぱり幾らいいところがあっても、さっき本目さんがおっしゃいましたけれども、生活と言っては悪いですけれども、やっぱり気持ちに心の余裕がないと、魅力的なものも多目に入ってこないし、感じられない、そういう気持ちをみんなでどうやって持った上で魅力を魅力として感じ取ることができるのかなというのが、どんなに魅力を発信したって、受け取る側の気持ちがないともったいない話なので、その辺をどうしたらいいのかなというのを皆さんのお話を聞きながら感じた次第でございます。何かよい知恵がありましたら、ぜひお願いしたいと思います。

藤枝委員長 ありがとうございます。

では、鈴木副委員長。

鈴木副委員長 魅力は、もう皆様、ここにアンケートに出ている、プラス皆様のご意見のものすごいなと感動しておりますが、実は今日講演いただいた中山博夫さんが昨年度の中原提案事業ということで、中原に観光ガイドの会をつくろうという、その養成講座を1年間されたんですね。それが終わった段階で、それで終わらせないで、実はその人たち、有志でガイドの会を今つくってありまして活動を始めています。

ご存じのように、中山さんはこのようにとにかくすごい勉強家で、歴史的なことにも素晴らしいんですけれども、その中の中原の区民の皆さんが、かなり人数はいらっしゃるんですけれども、お1人お1人がまたすごいんですね。いろんなことに詳しいということで、中原にこれだけの人材がいるんだと、歴史だけでなく、文化でもスポーツでもすごいなということで、やはり人の魅力をもっともっと広げていきたいなと一番考えております。

区民会議の皆さんもそれぞれ素晴らしいんですけれども、そういうわけで、中原になかったガイドの会ができることで、いろんな意味で、プロにはなれないと思いますけれども、区外の方やほかの方たちに中原の魅力を発信できるかなと。そうすることによって中原というまちがどれだけ川崎の中で重要なポジションにあるか、あるいは日本の中でも歴史的にもすごく魅力のあるところですし、皆さん、何回もおっしゃってくださっている私の多摩川の魅力も全国的に発信できるかなと思っています。

本当とにかく何をしてもまず人であると。歴史の分で言うと、多摩川の中でも、例えば丸子の渡しなんていうのはつい最近まで、平成10年まで稼働していたわけです。それを今復活させようと、今日の傍聴人に安住さんがいらっしゃいますけれども、そうやって一生懸命ボランティアで船を守ってやっていらっしゃる方もいるということで、本当に人に魅力に尽きるかなと思っています。

我々区民会議は、本当にそういう中で、先ほど内藤委員もおっしゃったように、次の世代に、この施設だけでなく、人の魅力をどのようにして伝えていくか、本目さんのような若い人たちにもっともっと向こうから近づいてもらえるような魅力あるようなことに、

もし私たちの区民会議がその一步を踏み出せばとてもいいかなと考えさせていただきました。

ありがとうございました。

藤枝委員長 さすが川の鈴木さんです。さっき僕が余り最初はっぱをかけ過ぎた関係で皆さん大分はしよったのか、時間がちょっとできたので、まだしゃべり足りない委員さんもいらっしゃると思うので、どうぞ。

横川委員 さっき大下さんがおっしゃった、あの方はお若いんですけども、大変子育てがお上手なんですよ。個人的に褒めるといわけではないんですけども、皆さんもご存じのように、川崎は62年前、大空襲でここがもう全部焼け野原になりましたでしょう。そのときに川崎の子どもたち3000人が大山へ疎開いたしました。その疎開で3000人の子どもが親元を離れて疎開して、よくあの大山の1軒1軒の貧しいまちで引き受けてくれたなと。その戦争の話は別として、それを毎年お礼というか、大山へ訪ねていくんですよ。そのときに親子で平和活動の一環として各学校へお声をかけて親子で平和の旅を募集するんです。そうしたら、あの方が偶然にバスの中に乗っていて、いいお母さんをしているんだなと思ひましてびっくりいたしました。

ですから、子どもに伝えるというのは、やはり親も十分まちの様子とか今自分が置かれている幸せとか、そういうものはいろんな形で伝えていく。私もその中で、朝、行ってまいりますと家を出ました。帰ってきたら家も何もなくて、親も親戚も兄弟も亡くなった。さあ、あなたはどうしてこれから生きていきますかと問いかけたとき、前の子どもで、やっぱり小学校五、六年の子なんかはぱっと涙が込み上げてくるほどびっくりして、それが戦争だったんですよ。そのときに3000人の人たちの子どもはみんな親から離れてこの山の中で生活したんですよ。この銅像を見てごらんください。川崎へ帰りたいなと子どもがずっと指を指しているでしょう。これは山の上で川崎を指して帰りたいと言っている姿ですよ。そういう形でこのお母様がお子さんを連れて平和の、それを通して皆さんはこれから親に対してどういう態度で接するか、お芋1本、雑炊1つで1日を過ぎた、勝つまでは欲しがりません、この言葉で子どもたちはずっと我慢したのよ、物を捨てるなんてとんでもない、そういう形からしたら、これからあなたたちが大きく育っていくのに、これを機会にまた改めて生きざまを考えてくださいということでお母様たちとご相談したんですけども、やっぱり平和館を通して心の平和、親への感謝、そういうことをつなげていっていただきたい。あなたはいいお母様でございました。戦争の話はまた別として。そういうことです。

藤枝委員長 どなたかどうぞ。

藤嶋委員 私は中丸子なのですが、平間、中丸子には現在も船を横につけている家があります。砂利掘りをしていて、そしてそのときに携わった人がまだお元気で最近話しを聞く機会がありました。砂利掘りで地方から出稼ぎに来てくれる人が多く、その人たちも一緒

に砂利掘りをしたので、裕福で皆仲良くしたと言っておりました。またアミガサ事件は私のすぐ傍らでも行われ、度重なる洪水で苦しんだこの附近の人たちが大正三年に神奈川県庁へと編み笠をかぶり請願に向かったという場所なのです。そしてまた、この附近の野口さんの水車は関東で一番大きく、関東大震災までそれがこっとなこっとなと鳴って、近隣はもちろん大師とか品川とか、遠方から多摩川を渡ってきたと。本当に昔のことを思うと夢のようなところなんですね。だから、やっぱりそういうのもこれからも大事に子どもたちに伝えていきたいなというような思いがいたします。

藤枝委員長 まだ時間はございます。どうぞ。

杉野委員 ちょっと言い忘れたんですけども、私、この中でやっぱり多摩川、河原、昔、軟式野球の全国大会なんかを河原でやったのを皆さん覚えていますか。そのとき僕は初めてPL学園というのを、PL教団といったかな、えらい強いチームが来てやったのを覚えているんですよ。私たちもオール小杉というチームをつくりまして、川崎球場で決勝戦まで、みんな学校の野球部の連中ばかりです。素晴らしい、朝から晩まで野球をやって、多摩川というのはいいなと思って。私も中原小学校、中原中学校で育ちましたので、あそこのところから高射砲でぼんぼんと、皆さんトーチカがあったのをご存じですか。緑地にあったんですよ。高射砲でやったという、そこがグラウンドになったということで、いろいろ小さいときの思い出がよみがえってまいります。

ありがとうございます。

藤枝委員長 まだもう少しございます。

では、内藤委員、お願いします。

内藤委員 先ほど音楽のまちというご提案、私もすごく好きで、たまたま知り合いに劇団四季をやめた子たちが結構中原区に住んでいるものですから、私は応援して四季のミュージカルを見にいくと、どうしても四季劇場へ行って1万500円とか結構高いんですよ。私は、この小杉は映画館もないし、大したところもないんだけども、何とか行く末は地元の子どもたちが活躍できるようなミュージカルができればなというので、以前本当はこの中原区の協働推進事業の中に僕は教えてもいいですよとってくれた人が何人かいたもので提案させていただいたら、残念ながら却下されちゃって、区役所で地元ミュージカルのそういう立ち上げができればなみたいに思ったんですけども、私は今父親として活躍しているので、ぜひこの小杉近辺で低料金でミュージカルとかコンサートが聞けるような場所が何かの形でできればいいなと常日ごろ思っているもので、それが1点。

あと、スポーツのまちでもあるんですよ。もちろんフロンターレさんは言うに及ばずなんですけれども、私が応援しております法政大学野球部のグラウンドがあります。あそこでは法政大学の選手たちが一生懸命毎日練習していて、見に行けば、グラウンドから練習、スタンドがあって見れることはありますし、ことしの春は14年ぶりに日本一になって、3年ぶりに、6シーズンぶりに6大学も優勝したんですけども、秋は最初にちょっ

とこけちゃってしまいちしんどい思いをしているようなんですけれども、あとアメリカンフットボールもあれば、いろんなクラブが活躍していますし、フロンターレさんのほかにもフロンティアーズというアメフトのところとレッドウェーブという女子バスケットも活躍していますし、これは企業さんが応援しているんですけれども、やっぱり地元のことなので、何とかある意味で、今度もしあそこの等々力グラウンドが改修されるならば、そういう地元の人たちの意見を大いに聞いて、地元の人々が使いやすいような、これは次の市長さんにかかわる話なのかどうかわからないんですけれども、ぜひ地元の人が改修工事が終わったというか、新築されるかわかりませんが、終わった後に本当に中原区のスポーツの中心もあって、川崎全体の中心になって、また、日本を代表するスポーツのまちにもつながる可能性がいっぱいあるので、そこら辺にも目を向けていただければうれしいかなと思います。

藤枝委員長 前は映画館は中原区は結構ありましたからね。中原劇場なんて2円99銭という入場料を今でも覚えています。チネチッタの、本当に立派にありましたよ。文化とかいろいろいる。洋画専門のところもあったし、3本立てのところもあったし。チネチッタに負けないように少し魅力を。

松本委員 これだけたくさん自然とか景観、歴史、たくさんあるんですけれども、やはり何といってもいつもネックになるのがみんなのマナーが悪いというところで、例えば等々力はとてもいいところだいいところだといっても、やはりごみが落ちていたりとか、あとは自転車でもどこでも行けると言っているけど、やはり放置自転車が多いとか、どうしても日々生活している私たちのマナーというのがとても目につくと思うんですね。次世代に残していきたいことはたくさんあるんですが、やはり残すためにはきれいな形で維持していかなくちゃいけないというところはみんなの意識を変えていかないと難しいところになると思いますので、前回にもいろいろマナーアップというのがありましたが、ぜひそのマナーアップとこちらのまちの魅力の発信とをうまくタイアップさせていろいろ進めていけばいいのかなと思います。

藤枝委員長 ありがとうございます。大分意見も出そろったところなんですけれども、最後に、本目さん、皆さんの意見を聞いてどう思いましたか。最後にちょっと一言。

本目委員 済みません、急に振られてちょっとびっくりしているんですけれども、お話を聞いていて、すごくいろいろ魅力があるんだなと思ったんですが、ただ、観光地とかにするわけでは多分ないと思うので、ほかの地域に比べて中原区はいいんだというよりも、自分たちがこんなに中原が好きで、こんなに誇りに思っているんだよということを中原区のみんなが共有できることが一番いいのかなと思いました。

簡単ですが、以上です。

藤枝委員長 さすが若い意見はすばらしいですね。先ほど鈴木委員が言ったガイドですか、ほかの観光地は結構ありますけれども、中原はそういうのはないですね。

皆様のご協力で大分順調に進んでまいりました。ご意見はまだあると思うんですけれども、時間が参りましたので、本日の議論はここまでとしたいと思います。

本日の議論は、これから課題調査部会に引き継いで、より具体的な審議を行っていただきます。そして、課題調査部会での結果を受けまして、来年に予定している次回の区民会議で区民会議としての取り組み手法をまとめていきたいなと思っております。

(5) 課題調査部会委員の改選・選任

藤枝委員長 次に、課題調査部会の部会委員の選出についてです。委員の選出の前に課題調査部会の役割などについて、改めて事務局から説明をお願いいたします。

事務局 それでは、課題調査部会について事務局から再度説明させていただきます。

資料8をごらんください。A4の縦でございます。

こちらの課題調査部会でございますけれども、この位置づけ等につきましては何回かご説明させていただき、既に自転車問題、またコミュニティづくりについて課題調査部会でご検討いただいたところがございますので、詳しい説明につきましては省略させていただきますけれども、課題調査部会は、多くの委員の方に専門部会を含めましてご参加いただくという趣旨から、部会長さんと副部会長さんを除きまして、テーマごとに委員の改選を行うという形になっておりますので、今回テーマが新たに変わりました「まちの魅力を見つける」ということを審議するに当たりまして、新たに部会委員の選出をお願いしたいと考えております。

事務局からは以上でございます。

藤枝委員長 ありがとうございます。

それでは、部会委員の選出に移りたいと思います。選出に当たりましては、区民会議条例施行規則第4条第2項におきまして、部会に所属する委員は、委員長が区民会議に諮って指名すると規定されております。本部会の趣旨から見まして、今回の検討テーマについて関心の高い方から優先的に選出したいと思いますので、いかがでしょうか、どなたかご自分からやりたいという方はございませんか。では、僕なりの案を出してもよろしいでしょうか。では、川連さん、鈴木さん、芳賀さん、あと藤嶋さんもいかがですか。あと吉房さんですね。ということで、事務局、いかがですか。その方でやりたいと思います。

では、皆さん、よろしく願いいたします。

4 その他

(1) これまでの審議課題に対する取り組み

藤枝委員長 続きまして、これまでの審議課題に対する取り組み状況についてです。

初めに、第1期の区民会議のテーマである「環境」の取り組みについて、竹井副委員長からご報告があります。よろしく願いします。

竹井副委員長 資料は参考資料1ということでA4裏表で用意させていただいておりますけれども、区民会議のほうで地球環境についてテーマとして議論していただきまして、いろいろ取り組みも始まっておりますが、「なかはら地球にいいことプロジェクト」という名前で、前回のときにも簡単に報告させていただきましたけれども、1月くらいから何回か準備会を開かせていただいて、半年ぐらいでこんなふうやっていこうということで正式に動き出したので報告させていただきます。

以前も言ったかなと思いますけれども、最初からかちとした組織をつくるんじゃなくて、やりながらネットワークを広げていきたいなというような進め方を考えております。

活動の柱はやはり普及啓発、環境学習、環境教育の推進ということで、まずはよく知っていただくということが大切かなと思っておりますので、家庭とか町内会とかマンションとか学校などでいろんなことをやっていきたいというのが1つでございます。

裏のほうに行きますけれども、あとは実践活動ということで、それぞれ、その次は行動を何とかやっぱり1人1人が取り組んでいただきたいということで、今、中原区役所では1課1エコ運動ということでやっているということですが、例えば商店街だと1店1エコ運動、これもプレーメン商店街なんかは既にやっておりますけれども、あと企業、事業者さんも1社1エコ運動とか、町内会、マンションさんも1つずつ何かテーマを選んでやっていただけるようなことができないかなとか、そんなことを考えておりますし、またイベントなんかもできればやっていきたいなと思っております。

あと、実際に何をやっていくかにつきましては、3番目、今後の予定ということで、中原区役所のほうが事業として今年度環境楽習会ということでずっとやっておりますので、それに協力を行う。特に11月29日、日曜日なんですけれども、午後100人ワークショップということで、今日も配付の資料がありますけれども、中原区民は23万人ぐらいいますけれども、その23万人にどう広げていくかということをもっと100人くらい集まっていたいで話したいなというようなことで考えているものですので、ぜひ区民会議の皆さん、また、今日傍聴に来ている方も参加していただいて、こんなふうやっていこうというのをみんなで話し合うことができたらなと思っております。

あと、11月14日は、元住吉のプレーメン商店街とかわさき地球温暖化対策推進協議会のほうで子どもたちが集まって、こんなふうな宣言を環境についてまとめていくみたいなの、やっていくみたいなのことで子ども環境サミットみたいなのも計画されております。

また、3月、先ほどから新駅の話が出ておりましたけれども、何らかのイベントがあると聞いておりますので、そういった折に環境のアピールをしたいのと、あとは、毎年6月が環境月間ということなんですけれども、来年の6月5日ぐらいに環境関連のイベントをぜひやりたいなと思って、まだ準備段階ですけれども、考えております。ということで具体的に少しずつ始めたいと思っております。

1カ月に1回ぐらいの割で打ち合わせをしておりますので、次回は11月2日、表の四角

のところに書いておりますけれども、夜ですけれども、6時半から行いますので、関心がある方はぜひ集まっていたきたいのと、一緒に協力できるよという方も私のほうまで連絡いただければフォローさせていただきますので、よろしく願いいたします。また、いろんな団体、個人の方についても何かの折には協力のお願いをするかと思っておりますので、よろしく願いいたします。

藤枝委員長 ありがとうございます。

次に、今期の最初のテーマで取り上げました「放置自転車問題」の取り組みについて、自転車と共生するまちづくり委員会の芳賀委員から報告があります。

芳賀委員 参考資料の2を見ていただきたいと思います。そちらのほうに前回の委員会で報告した後の私どもの活動が書いてございまして、1番から7番まで書いてございまして、1番目に交通安全パレードを実施したということです。これはすみれ保育園さんをお願いしまして、年長組のお子さんに参加していただいて、駅前通りでにぎにぎしくやってみたということで、当然地元の商店街、スーパーさん、それから役所、警察署さん等々のお手伝いもいただきまして、ことしで3回目になるんですけれども、やらせていただいて、皆さんのほうにもいろいろと交通安全のアピールをしたということです。こちらのほうには、CAテレビなんですけれども、テレビの取材も入りましたし、新聞、取材等が入って、中原でこういうこともやっているよということも発信しました。

それから2番目なんですけれども、市民活動の集いのほうにも参加させていただいて、ここでちょっと新しい試みなんですけれども、小学生による小杉自転車調査隊というのを編成しまして、小杉の放置自転車を中心にして、小杉のまちをこれからどうすればいいのというような課題で子どもたちにワークショップをさせていただきました。それを当日まとめまして早速展示はしたんですけれども、その後、区役所の5階のほうにもしばらく展示しておきました。そういうことで、大人だけでなく子どもにもいっぱい放置自転車について関心を持ってもらいたいということで活動しております。

それからもう1つ、活動の集いの中で、おもしろ自転車という名前になっているんですけれども、キャラクター型の自転車、例えばパンダ型の自転車だとか、レーシングカータイプの自転車だとか、そういう変わった自転車を持ち込みまして、子どもたちにそれに乗ってもらうことによって交通ルールを学んでもらおうというような催しもしました。こちらのほうには物すごい参加がありまして、350人の子どもたちに来ていただきました。こちらのほうも3回目をやっております。

それから、通常の活動なんですけれども、3番目の呼び掛け活動というものを月に2回、たまたま7月、8月は夏休み、それから天候のかげんがありまして、ちょっと思うように実施はできなかったんですけれども、毎回20人ぐらいの地元の方の参加をいただいて放置自転車をしないように呼びかけをしております。

どういうわけか、当日は自転車は本当に少ないんです。朝から全くないんです。この日

やりますよということは一切いたしておりませんが、なぜかなくなるということは、何となく感じられているのかなと。ただ、曜日を火曜日と木曜日のうちのいつかということになっていきますので、その辺で感じられているのかもしれませんが。ですから、放置自転車をされる方も、やっぱりしてはいけないんだと思っているのかなと感じております。

あと、「放置自転車のないまち通信」2号を8月の初旬に町内会さんのほうに回覧させていただきました。約8000部印刷いたしまして各町内会に回覧させてもらったということで、これは1号に続きまして同じような話題をアレンジを変えまして編集しております。さらに、今3号を編集中で、できれば年内ぐらいに発行したいというところがございます。

それから、川崎市の建設局から区内各駅周辺における放置自転車対策調査票というのがこの前参りまして調査をいたしました。これには川連委員のほうにもお手伝いいただきまして、川連委員には新丸子の駅前の調査をしていただきました。平日だけでなく土日も含めてということだったものですから、結局3日間川連委員もかかったということで、私どものほうも1週間ぐらいかかりました。小杉周辺ということで、北口、南口、東急というような形でやりまして、10ページぐらいのレポートを提出したということをしております。早速市の対策課のほうから反応がありまして、我々が出したことに對して、口頭ではありましたけれども、向こうから係員が説明に来たということで、非常に我々の活動にも関心を持っていただいたかなと思っております。

それから7番目に、11月12日、24日に我々のほうで定期的にやっております放置自転車の調査をしたいと思っております。これは今回で10回目になるんですけども、ずっと委員会が立ち上がってから毎年大体秋口に1度調査をするということで、観測的なことをしております。毎年どのように放置自転車の台数が動いているか、やっております。大体1500台ぐらいが小杉周辺にあるんですけども、ことしちょっと予備調査をしてみましたところ、ことしはちょっと増えていますね。どういうわけでしょうか。今までは少しずつ減ってきたんです。大体100台ぐらいのオーダーで減ってきました。去年で1400台幾らというぐらいまで下がってきたんですけども、先刻予備調査では1800台ぐらいありました。どういうわけか、ちょっと原因はわかりませんが、そういうことで、今度本調査をきっちりいたしまして、またその対応を考えていけるように担当の行政のほうとも相談していきたいなと思っております。

藤枝委員長 ありがとうございます。最終的には本人の自覚の問題になると思うんですけども、そんなに増えてきましたか。

芳賀委員 どうなんでしょうね。カウントの仕方が違ったのか、そういうところはないんですね。同じ人間がやっているわけですから。ですけども、増えてきたということ。1つは、東京電力の変電所の横、あそこに塀がありまして、市有地があって自由にとめられ

る場所があったんですね。あそこに300台自転車が入っていましたから、その自転車が工事の都合で今仮囲いができまして自転車がとめられなくなって、その300台がまちにあふれているのも1つの原因かと。ただ、それに対しては行政当局のほうで旧市民館のほうの1階の駐車場を開放していただきまして、臨時の駐輪場を開設していただいて、そこには380台入れるようになっておるんですけれども、今のところ250台ぐらいしか入っていませんから、そうすると、差し引き100台ぐらいはやっぱり路上にあふれたかなという観測になります。ちょっとまだ詳しい調べをしないとわかりませんけれども、そういうことです。

藤枝委員長 どうしても近いところへとめちゃうんですね。ありがとうございます。引き続きまして皆様にもこの取り組みへのご協力をよろしくお願いいたします。

次に、第2期の2つ目のテーマである「地域コミュニティ」の取り組みについて報告を受けたいと思います。最初は「あいさつ」の実践によるコミュニティづくりについて、竹井委員からご報告をお願いします。

竹井副委員長 それでは、前のテーマでありました「これからの地域コミュニティづくりを考える」の中でやっていこうということで決まりました「あいさつ」の実践によるコミュニティづくりということで進捗について報告させていただきます。

前回の7月10日の区民会議で、あいさつの実践を通してよりよい地域コミュニティづくり行っていくということで、中原区のまちづくり推進委員会のほうで毎年区内の小学校、中学校からマナー・モラルポスターを募集したりつくっていただいたりしておりますけれども、その中であいさつがテーマになっているポスターがあれば使えないかということで検討してまいりました。今回、何点かあいさつがテーマのマナー・モラルのポスターが集まりましたので、それを使いましてこのような形でアピールできるようなポスターをつくっていくということができそうであると。

この作成の経過といいますのは、先ほど言いましたとおり、夏休みに小学校の4年生から6年生及び中学生の部活のほうに毎年マナー・モラルポスターを募集しております。今年度、今回は約400点の応募がありまして、10月2日、先週、審査会を行いました。その中から何点か選んでまた表彰なんかを行うんですけれども、その中に写っておりますようなあいさつに関するものがありましたのでポスターをつくった次第でございます。ポスターがちゃんとできた後は、区役所の掲示板とか各町内会の掲示板とか商店街とか、そういうところの掲示板のほうに、スペースが足りなくてなかなか張る場所がないよということも聞いておりますけれども、ぜひ協力いただいて張っていただければと思います。そうすることで、あいさつをすることでやっぱり人と人が知り合って顔見知りになって、そこからいい地域コミュニティができていくのかなと、基本だと思っておりますので、ぜひよろしくお願いいたします。

あと、あいさつだけじゃなくて、先ほどもマナー・モラルが大切だねというお話がありました。ポイ捨て禁止とか、放置自転車とか、いろんなテーマでたくさん400点の中には

あります。毎年区民祭等でも展示を行っておりますので、ぜひ見ていただいて、うちの近くでも張りたいよとか、そういう要望があれば、事務局のほうに言っていただければ、費用は折半なり負担するなり、そこは相談させていただきますけれども、ぜひあちこちで小学校、中学校の児童さんが書いたポスターを使っていただければと思いますので、ご協力のほどよろしく願いいたします。

藤枝委員長 次に、地域コミュニティの場をつくろうということで町内会、商店街にアンケートを実施しましたので、その結果を事務局から報告をお願いします。

事務局 それでは、事務局から、アンケートの結果というか、ちょっと途中経過という形になります。今日は皆様方に資料をまだ配布させていただく段階でないので資料を配布しておりません。本当に申しわけございません。

こちらのアンケートにつきましても、前回7月10日のテーマで「これからの地域コミュニティづくりを考える」と、ご議論いただいた中で、地域コミュニティの場が必要だということで、そのご意見に基づきまして、区内の町内会自治会、また商店街さんの所有している集会所であるとか会議室等の施設を地域のコミュニティの場として貸し出してもらえるか等のアンケートを行わせていただきました。

質問につきましては、1つとして、まず、所有している集会所であるとか会議室等の施設を地域の方に貸し出しをしておりますかということに関する事、それからもう1つとしては、地区内に人々が集うことができる場所であるとか、子どもたちが遊ぶことができる場がありますか、あればご紹介くださいということでございます。

それから3点目として、コミュニティの創出等につながるイベントであるとかお祭り等を開催しておりますかということをお答えさせていただく形式でアンケートを実施いたしました。現在まで町内会自治会さん77団体のうち、55団体から回答をいただいたところでございます。回収率は71.4%となります。また、商店街さんにつきましては24団体のほうにアンケート調査を行い、13団体のほうからご回答をいただいております。回収率は54%という形になります。現在、このアンケートにつきましては事務局のほうで集計、また整理、確認等を行っている状況でございます。こちらにつきましては、公開の仕方等も含めまして今まとめているところでございますので、集計がまとまり次第委員の皆様にご報告させていただきたいと思っております。

現在の進捗状況は以上でございます。

藤枝委員長 ありがとうございます。

以上で本日の記事はすべて終了いたしました。あと事務局から連絡事項がありますでしょうか。

事務局 そうしましたら、事務局のほうから何点か事務連絡をさせていただきます。

まず最初の会議の冒頭で本日の配布資料の確認をさせていただきましたが、その中でちょっと省略で後ほどということでお伝えさせていただいた資料でございます。こちらにつ

きましては、幾つか配布させていただいておりますが、まず1つ目として、各区の区民会議の取り組み状況等ということで、川崎市内の7区の区民会議の取り組み状況を簡単にまとめたものを配布させていただいております。

それから、他区の第2期の区民会議の中間報告書、こちらにつきまして中間報告を作成しております区について皆様方に参考として配付させていただいております。

それから3点目といたしまして、先ほど竹井副委員長からもちょうとご紹介がございましたが、「『中原区民環境ミーティング』参加者募集！」というチラシでございます。こちらは11月29日に区役所の5階会議室で行いますので、興味のある方はぜひご参加いただければと思っております。

それからもう1点、川崎市自治推進委員会講演会ということで、「あなたの参加と協働が自治を進めます！～自治基本条例の基本原則を踏まえて～」ということで講演会が行われます。こちらは11月11日の水曜日14時30分から川崎駅西口のラゾーナ川崎の中にありますラゾーナ川崎プラザソルというところで開催されますので、こちらのほうも紹介させていただきます。興味のある方はぜひご参加いただければと思っております。

配布資料の説明は以上でございます。

続きまして、今後の日程の確認をこの場でちょっとさせていただきたいと思っております。

資料の4番、横長の「第2期中原区区民会議のスケジュール及び審議の流れ」をいま1度ご参照いただけますでしょうか。この表の中で、本日が一番上の段の区民会議の「第二回区民会議」というところになります。こちらで本で行われたわけですが、次のステップといたしまして、本日決まりました課題調査部会の委員の方でお集まりいただき、第2回課題調査部会を行います。引き続きその後、第3回運営部会を行います、第3回区民会議を来年の1月に予定しております。

本日、この第3回の区民会議の日程についてお知らせさせていただきたいと思っております。こちらにつきまして、来年の1月14日木曜日14時から16時30分の予定で実施する予定としております。皆様方におかれましては、お忙しいと思えますけれども、日程に入れていただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

それから、この表にございます第2回の課題調査部会でございますけれども、こちらにつきましては、本日決まりました委員の方に後ほどお集まりいただきまして日程の調整をさせていただきたいと思っておりますので、委員になられた方につきましては、会議終了後、向かい側の506会議室のほうにお集まりいただきたいと思っております。

それから、この表の中の一番下になりますけれども、3月の欄に区民会議交流会（予定）というものが記載されております。こちらにつきましては、3月14日の日曜日午後1時から中原市民館のほうで区民会議交流会という形で各区の区民会議の取り組み状況等について各区の委員方からの報告等を予定しておりますので、こちらのほうもお時間があり

ましたらぜひご参加いただければと思っております。詳細につきましてはまだ予定ということで決まっておりませんので、決まり次第、また別途お知らせさせていただきたいと思っております。

事務局からの報告は以上でございます。

藤枝委員長 ありがとうございました。

4 閉会

皆様のご協力をいただきまして円滑な議事を進めることができました。副委員長ともども深く御礼を申し上げます。また、ゲストでお越しいただきました中山さん、本当に最後までおつき合いいただきありがとうございました。

では、これで第2回の中原区民会議を閉会といたします。どうもありがとうございました。

午後 8 時20分 閉 会